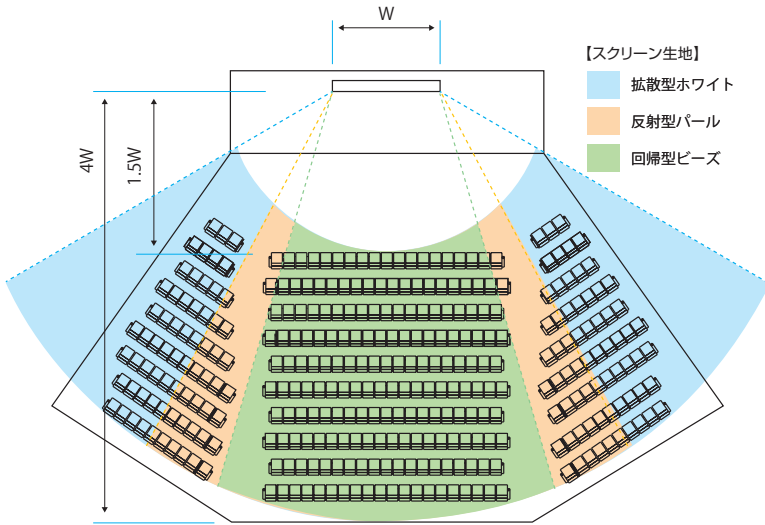


# スクリーン選定のポイント -3-

## スクリーンサイズを決める



※オーエスでは、11pのテキストフォントが判別できる距離を目安にしています。

### スクリーンまでの距離で割り出す

スクリーン設置予定の部屋の広さから、視聴者の一番後ろまで何メートル取れるかで、おおよそのスクリーンサイズを決める事ができます。

10mの距離が取れるのであれば、左の図から10m÷4=2.5 (Wのサイズが2.5m) と導き出せます。P.19のスクリーンイメージサイズ表により、120H、120Wが推奨のスクリーンという事になります。

## プロジェクターを決める

通常の事務室の照明は約700lxの照度が良いと言われています。その環境で正常にデータの読めるスクリーン面の輝度は300cd/m<sup>2</sup>が必要です。輝度は次の式で求める事ができます。

$$\frac{\text{プロジェクターの光出力 (lm)}}{\text{スクリーンの面積 (m}^2\text{)}} \times \text{スクリーンゲイン} \times \frac{1}{\text{円周率}}$$

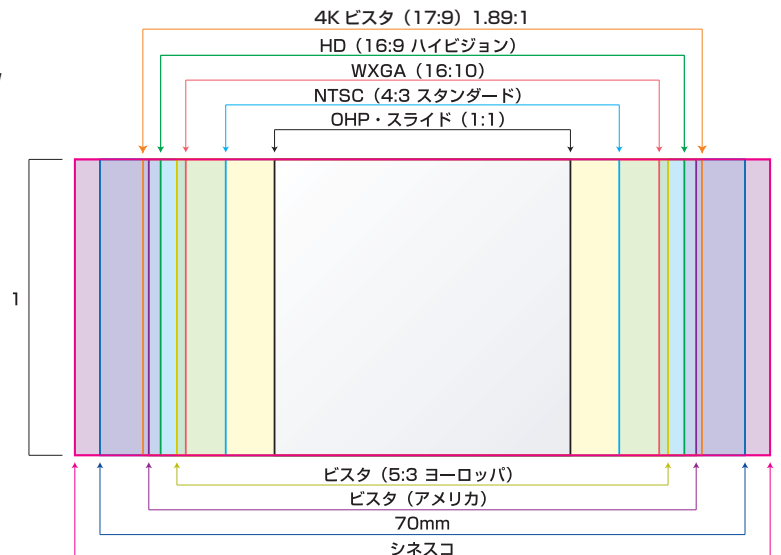
上記の式から3000lmのプロジェクターで120H-WG103のスクリーンに投写した場合に、スクリーン面の輝度は216cd/m<sup>2</sup>となり、室内照明を落とす、スクリーン生地を変更するなどの対策が必要だという事が分かります。BU201に変更した場合には649cd/m<sup>2</sup>という明るさが確保できる事になります。

※スクリーンのゲイン (▶P.25)

## スクリーンアスペクト比(画面横縦比)

スクリーンサイズはタイプによって横縦の比率が変わります。NTSCタイプ (横縦比率4:3) [旧作映画] や、HDタイプ (横縦比率16:9) [ハイビジョン] などです。

図を参考に、目的にあった比率のものをお選びください。本カタログ掲載の規格品はNTSCはV、HDはH、WXGAはWで型式を表しています。



- OHP・スライド ————— 1:1
- NTSC (4:3 スタンダード) ——— 1.33:1
- ビスタ (5:3 ヨーロッパ) ——— 1.66:1
- HD (16:9 ハイビジョン) ——— 1.77:1
- ビスタ (アメリカ) ————— 1.85:1
- 70mm ————— 2.18:1
- シネスコ ————— 2.35:1
- WXGA (16:10) ————— 1.6:1
- 4Kビスタ (17:9) ————— 1.89:1